

令和3年度 学力向上を図るための授業改善推進プラン

教科：技術・家庭科（技術分野）

Research ⇒ 現状分析・課題把握

- 1年生**・・・【授業、実技テスト、作品、定期考査などの分析】⇒授業内の規律や三中のルールを明確にすることで、授業規律が身に付いている。発言にも意欲的な生徒が多く、宿題や課題にどの生徒も意欲的に取り組んでいる。製図の作業では、定規を読む、図形の読み取りなどで、理解力に違いはあるが、概ね授業の取り組みは良い。考査では、思考を問う問題を、67%正答している。
- 2年生**・・・【授業、実技テスト、作品、定期考査などの分析】⇒三中の授業規律が身に付いている生徒が多い。座学でも、作業でも、意欲的に取り組んでいる。栽培の学習においては、持続的な学習となるので、取り組みに差はある。考査では、思考を問う問題を、63%正答している。
- 3年生**・・・【授業、実技テスト、作品、定期考査などの分析】⇒三中の授業規律が身に付いている生徒が多く、作業では、どの生徒も昨年よりも意欲的に取り組んでいる。発言にも意欲的で、授業も進みやすい。栽培の学習においては、持続的な学習となるので、取り組みに差はある。考査での思考を問う問題は、83%の正答と高い。

Plan ⇒ 課題解決のための主な取り組み(計画)

《Ⅰ 基礎的・基本的な知識・技能の『習得』》

- 1年生**・・・次時の課題の予習が必要である。授業中に大事な個所について、「三中スタイル」のねらいを踏まえ、内容を確認させて、身に付けさせる。
- 2年生**・・・2年の技能では、1年時よりも自分で積極的に取り組むことが必要である。その上で、時間内に完成させるには、何をどのように取り組めばよいかを考えさせ、最適解をアドバイスしていく。
- 3年生**・・・技能面と知識とを同時に定着させることを行わせる。キーワードの反復を心がけさせ、技能では、自分で積極的に取り組み、挑戦させていく。

《Ⅱ 思考力・判断力・表現力等の『活用』する力の育成》

- 1年生**・・・設計などを通じ、ものづくりの場合の2次元と3次元の表し方の違いを個別に学ばせる。また、工具の使用では、最適な使用法、工夫する使用法を考えさせる。
- 2年生**・・・学習する3分野の内容それぞれで、別々の課題がある。自分で考え、意見を発表させることを狙っていく。どのような方法で取り組めば、課題を解決し、よりよい作品になるかを考えさせる。
- 3年生**・・・成功しない場合、何を变えていけば、成功するかを考えさせるアドバイスを入れていく。課題に対しての最適解を導くために何が必要かを考えさせ、個別指導を行っていく。

《Ⅲ『学ぶ意欲や態度』の向上、学習習慣の定着》

- 1年生**・・・復習を促し、学習内容の定着を図る。授業において、世界の技術の向上を関連付けて話し、興味をもてるように、説明する。課題に対して、コラボノートなどのICTを利用した協働活動を取り入れ、互いの意見を共有した上で、自分の考えを深める活動をさせる。
- 2年生**・・・ICT機器の活用を増やし、効率よく説明をすることにより、技能の時間を増やしていく。課題解決時の達成感を味わえるよう、技能時の作業を工夫することをアドバイスする。課題に対して、コラボノートなどのICTを利用した協働活動を取り入れ、互いの意見を共有した上で、最適解について、自分の考えを深めさせる。
- 3年生**・・・授業を通して、技能時の作業を工夫させることで、課題解決時の達成感を味わえるようにする。自分で考え、挑戦していくことをアドバイスする。課題に対して、コラボノートなどのICTを利用した協働活動を行い、互いの意見を共有した上で、自分の作品をよりよいものにさせる。